

評価報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日 平成 19 年 6 月 1 日
 調査実施の時間 開始 13 時 30 分 ~ 終了 19 時 00 分
 訪問先事業所名 グループホーム ゆんぬ
 (都道府県) 鹿児島県
 評価調査員の氏名 氏名: 増田 幸雄 氏名: 藤田 泰洋

事業所側対応者
 職名 管理者
 氏名 竹内 美津子
 ヒアリングを行った職員 (2)名

項目番号について

外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家 族 = 家族に限定していません。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4679600082
法人名	医療法人 沖縄徳洲会
事業所名	グループホーム ゆんぬ
所在地 (電話番号)	鹿児島県大島郡与論町茶花302-5 (電話)0997-81-3919
評価機関名	特定非営利活動法人 NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48-13
訪問調査日	平成19年6月1日

【情報提供票より】(19年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 5 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 3人, 非常勤 4人, 常勤換算	人

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造平屋 造り	
	階建ての	階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,500 円	その他の経費(月額)	33,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	50 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(5月5日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名		
要介護3	0 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	2 名		
年齢	平均 89 歳	最低	78 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	与論徳洲会病院 児玉歯科医院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

入居者の穏やかな笑顔と、それをサポートする職員の心底明るい笑顔、ゆったり流れる島ならではの時間がこのホームの居心地の良さを雄弁にあらわしている。管理者は、入居者一人ひとりの個性と生活歴に合わせたケアの実施にはチームケアが大切と考え、情報の相互発信と共有に特に力を入れている。全職員のこの取り組みがご家族にも伝わり、入居後の面会・来訪が比較的多く維持されて、ご家族や地域との絆が結ばれている。そのほか、同じ地区に母体法人の運営する病院があり、医療連携体制が整っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価結果をもとに、チームケアのための会議については、毎月定例で開催されるほか、利用者の状況に応じて随時の検討も行なわれるなど改善が図られた。運営理念の啓発については、地域密着型としての理念を加味され、今後、地域への浸透が図られることを期待したい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員全員が参加して点検が行なわれた。今後取り組んでいきたい内容についても、具体的な改善策の検討がなされており、評価に対する前向きな姿勢がうかがえる
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	先月、第1回の運営推進会議が開催された。島内唯一のグループホームのため、前回の会議では、会議の目的や運営方法・グループホームの概要説明・地域との交流の持ち方・地元行事への参加などが討議された。その中で話し合われた『幼稚園・小学校・中学校への相互交流のための働きかけ』が6月から実施に移される。次回の運営推進会議は7月に開催予定。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の来訪時には必ず声をかけて、本人の状態報告を行なうとともに、家族が意見や要望・苦情を職員に言いやすい関係作り・雰囲気作りを励んでいる。家族からの意見は会議に諮られ、対応方法が検討される。また、しばらく来訪のないご家族には電話で近況報告を行ない、信頼関係を深めるように工夫している。今後は、これらの取り組みを活かして家族会の設置検討も期待される。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	入口に「ホーム見学ご自由」の看板を掲げたり、毎日のホーム周辺の散歩や地域行事への参加など、地域との「顔の見える関係作り」に向けて管理者はじめ全職員が取り組んでいる。今後、こうした取り組みの成果と運営推進会議の成果、これら両輪がうまく回りはじめ、地域との連携が進展していくことを期待したい。

評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昨年の評価結果をふまえて、理念をパンフレット等に明記したほか、ホーム内の随所に掲示されている。		事業所独自の理念をつくりあげているが、更に地域密着型としての理念を加味されることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内の随所に理念が掲示されており、毎朝の申し送りの際に唱和を行うなど、日々のサービス提供場面で理念が反映されるよう取り組みが行なわれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ヨロンマラソンではホーム前がマラソンコースのため、選手への応援を入居者と職員総出で行なうなど、地域行事への参加を取り組み始めている。		自治会や老人クラブへの参加など、地域の一員として地域活動や地域住民との関わりを積極的にもつことが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で見出された課題について、改善策を立てて取り組みを実施しているが、家族や地域への理念の浸透については具体策の実施に至っていない。		第1号のホーム便りには理念の掲載がなく、家族や地域への理念の浸透には結びついていない。今後新たな取り組みが期待される。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の運営推進会議で討議された「幼稚園・小学校・中学校に対する相互交流のための働きかけ」が6月から実行に移される予定であり、その成果が期待される。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	二ヶ月毎に開催される定例会のほか、必要に応じて随時、地域包括支援センター(町直営)との連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時には、必ず声をかけて健康状態や金銭管理等の報告を行なっている。家族が島外の場合は電話や郵便で報告を行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に意見を伺うように取り組んでいるが、意見・不満・苦情等を表せる機会を設け、それらを運営に反映する仕組み作りが望まれる。		家族会を設けるなど家族同士が集まりの場で意見を出せ、それらを運営に反映できる仕組み作りが期待される。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は少なく、顔なじみのケアが提供できるよう心がけがなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修内容を伝達する仕組みはあるものの、離島という環境的要因のため、島外で開催される研修への参加は都度の検討となり比較的困難な状況にある。		人材を育成していくために研修計画を立てることが期待される。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	奄美地区のグループホーム連絡協議会に参加して情報交換・交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居ができる仕組みもあり、利用者がホームの雰囲気徐々に馴染める工夫が行なわれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は皆、人生の先輩から学ぶという態度で接している。天候・暦・薬草・季節の野菜など先達の生活の智恵を教えてもらい、それを実践する場面を多く持つように工夫している。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活のベースや思い・意向を押し測って接している。例えば、朝食は6時半から8時前まで本人本位に対応している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族の意見や思いを聞き、スタッフの意見やアイデアも反映させながら計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	健康状態に変化が生じた場合は見直しが行なわれているが、それ以外の通常時の定期的な確認や見直しは行なわれていない。		健康状態が安定している利用者の場合であっても、定期的に、本人・家族・関係者と話し合っって新鮮な目で介護計画を見直す取り組みが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況や要望に応じて外泊支援や特別な外出の支援等を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医への受診支援を行っている。受診の結果は、必ず家族へ電話連絡するほか、スタッフ間で必ず申し送りを行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対応する事業所の方向性は出来ており、利用者の状態に応じて家族や主治医を交えて話し合いを行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	目立たずさりげない声かけや対応を行っている。プライバシー確保のために、部屋の表札は下の名前のみ表示してある。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れは持っているが、一人ひとりの健康状態や思いに配慮した個別性のある支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	女性男性ともに下ごしらえや野菜の皮むきなど、何らかの形で調理に参加する機会を設けている。食事は職員全員同じものを一緒に食べている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	朝を希望する方、夕を希望する方など個々の要望に合わせて支援を行っている。入浴を拒む方へは、朝・昼・夕と情報を繋ぎタイミングをみながら、さりげなく声かけを行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	皆一緒に過ごすことを強えず、個々の楽しみや過ごし方を尊重している。入居者は皆島唄が好きで三味線や唄が流れ始めるとリビングに集まって来る。また、畑作の植え込みや収穫など年に数回イベントを設けている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望に沿って、時間帯を区切らずに外出や散歩の支援を行なっている。また、旧暦や汐の満ち干きなど島の生活歴や生活習慣を尊重した外出の支援も行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中鍵をかけていない。歩き回る入居者には職員と一緒に付いて外を歩き、本人の意思で再びホームに戻って来るケアを行っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防の指導のもと避難・誘導訓練を実施しているほか、運営推進会議を通じて災害時の地域協力体制の構築を働きかけている。災害時対応マニュアルを作成し、事業所内廊下に貼付してある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の摂取量を記録し、月に一度管理栄養士の助言を受けているが、ベースとなる献立表を作っていない。		今後は、献立や栄養バランスについて管理栄養士の助言が活かされる取り組みが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの隣に畳敷きのスペースが設えてあり、所々の壁には利用者手作りの季節を彩る作品が飾られている。日当たりや風通しは非常に良い。リビングに西日が差し込むため、夕方はカーテンを操作して調節している。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの品物を居室に設えてあるものの整然としている。		個人の部屋としての生活感・個性が表れ、思い出の中で本人がホッとできるような雰囲気作りが望まれる。